

## 西洋建築史第4回

### 中世1 - カテドラルの時代

中島 智章

#### 序.ヨーロッパの封建制

フランク王国分割 各カロリング朝の断絶 諸侯(公、伯、副伯 + 大司教、司教)の勢威が増す

西フランク王国 カペー朝(987-1328): Hugue CAPETの頃は一地方勢力に過ぎなかったが… Philippe II, Louis IX

ロタリングア(Lotharの国) ロレーヌ(ロートリンゲン)公国、フランシュ=コンテ(ブルグンド自由伯領)、イタリア諸侯国…

東フランク王国 選挙王政 Otto Iが神聖ローマ帝国皇帝に(962) しかし、近代まで領邦国家の集合体に過ぎず

教皇権の絶頂そして転落: Gregorius VIIとHeinrich IV(1077)、Innocentius IIIとJohn 欠地王 Bonifatius VIII(1303)

修道院: 6世紀のベネディクトゥス(モンテ=カッシーノ)= 服従、清貧、貞潔 クリュニー修道院、フランチェスコ会などの発展

#### 1. 教会(教会堂)の種類

カトリック教会の位階: 教皇(pape) 枢機卿(cardinal) 大司教(archevêque)と司教(évêque) 主任司祭(curé) 神父と牧師

司教座聖堂(cathédrale) 参事会聖堂(collégiale) 教区教会(église paroissiale) バジリカ聖堂(basilique)と大聖堂

邦語表記 現地語に近いカタカナ表記 聖ペテロ サン=ピエトロ(伊)、サン=ピエール(仏)、ザンクト=ペーター(独)など

#### 2. ロマネスク建築

至福千年説の超克と石造ヴォールト建設術の復興 円筒ヴォールト、交差ヴォールト、ベイによる構成、ラテン十字形

\*壁面の構成: arcade + trifonium + clerestorey \*平面の構成: nave, aisle, transept, choir, apse

1) フランスのロマネスク: アブス(内陣)を取り巻く放射状祭室、巡礼路に沿って点在、クリュニー修道院などの建築

ラ=トリニテ教会(カ、1062-66頃)、サン=セルナン教会(トゥールズ、1080頃-)、ダラム大聖堂(1093-)、ノルマン式=rib、ラ=

マドレーヌ教会(ヴェズレ、1120-60頃): 交差ヴォールト \*サンティアゴ・デ・コンポステーラ教会(1075-1122) 巡礼路終点

2) イタリアのロマネスク: 基本的平面はバシリカ式を踏襲、柱頭の繊細な彫刻、鐘楼と円形の洗礼堂が独立に建てられる

サンタ=マリア=コスメティン教会(772-95)、サン=ミアート=アル=モンテ修道院教会(フィレンツェ、1018-62)、サンタ=マリア司教座聖堂(ピサ、

1063-1118-、洗礼堂・鐘楼 1152-1275)、サンタンブロー=ジョ大聖堂(ミラノ、1098-1128)、パルマ司教座聖堂(洗礼堂、1196-)

3) ライン川沿いのロマネスク: 二重祭室、菱形を組合せた屋根の尖塔 シュバニア=大聖堂(-1061-)、マリア=ラーハ修道院教会

(1130-56)、ヴォルムス大聖堂(1171-)、シント=セルフア=ス大聖堂、聖母教会(マーストリヒト)、サン=バルテルミ=参事会聖堂(リエージュ)

都市の司教座聖堂などは後にほとんどゴシック様式で再建され、かろうじて地下祭室(クリプト)の形でみることができる

#### 3. ゴシック建築

Louis VII + Sugerius (Suger) 王家の菩提サン=ドゥ二修道院教会改築(1136-44) ステインド・グラスと光

pointed arch + rib vault + flying buttress 高度な切石・組積技術の下地 \*pier, pinnacle, gargoye

1) パリのゴシック教会: ノートル=ダム司教座聖堂(1163-1250)、サン=セヴラン教会、サントゥスターシュ教会

2) イル=ドゥ=フランス地方: 都市の栄光をになう司教座聖堂 農業生産量の拡大と都市人口増 \*tribune付4層 3層

ラン(1155-1230)、シャルトル(1194-)、アミアン(1220頃-)、ポーヴェ(1247-72頃) 高さ48mを達成したが崩落 未完成

\*ランス司教座聖堂(1210-): 植物の葉を装飾的に用いたtracery フランス国王の戴冠式、「王の奇跡」=療癒さわり

3) 王室の礼拝堂 Louis IX (Saint Louis)のサント=シャペル礼拝堂(1243-1308): 単廊式 ヴァンセンヌ城塞付属礼拝堂

アーチ開口部の石造の枠=traceryの発達: lancette (12世紀) rayonnant (13世紀) flamboyant (火炎式、14世紀-)

「石の聖書」としてのゴシック大聖堂 portailなどの彫刻、ステインド・グラスの図像主題 \*Émile MÂLEによる諸研究